

エネルギー・環境産業を核とした地域雇用創造推進事業【北海道苫小牧市】

苫小牧市は北海道の南西部に位置し、製紙産業の立地からスタートし、電力、石油関連、天然ガスなどのエネルギー関連企業、自動車関連企業の進出へと続き、現在、北海道の工業製品出荷額の約2割を占める工業都市である。また、当該地域はラムサール条約登録湿地のウトナイ湖などの自然環境にも恵まれるなか、「人間環境都市」を目指して地球温暖化ガス削減への取組も推進している。

このような取組と連携して新エネルギー・環境産業の裾野拡大を図るため、太陽光発電装置の設置技術者を育成するセミナー、省エネ環境診断士を育成するセミナー、高度情報処理技術者を育成するセミナー等を実施することにより、関連分野における雇用機会の拡大を目指す。

雇用創出者数:162人(24年度までの累計)

【主な事業内容】

□ 雇用拡大メニュー(事業主向け)

- ・ 新エネルギー分野での事業参入のためのセミナー
- ・ 中小企業等を対象とした経営戦略セミナー

人口:173,502人
(平成20年3月31日現在)

□ 人材育成メニュー(求職者向け)

- ・ 太陽光発電装置の設置技術者を育成するセミナー
- ・ 省エネ環境診断士を育成するセミナー
- ・ 高度情報処理技術者を育成するセミナー
- ・ ものづくり分野、新エネルギー、環境産業における営業・販売員を育成するセミナー

□ 就職促進メニュー

- ・ ものづくり分野の就職面接会の開催
- ・ 求職者への就職情報提供事業

